

一般質問通告書

2025年11月25日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 10番 森脇 徹

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は 1. 全項目一括質問一括答弁
 2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号1) 発言事項	クマなど野生動物の集落市街地出没から市民を守る体制整備は
要旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	

気候変動や山と里との野生動物緩衝帯の大きな変化で、この数年、クマの出没が全国各地で起き、人身への危害が連日の報道となっており、広大な山地有する高島市も例外でない。国では、鳥獣保護管理法が改正され、この9月から緊急銃猟制度が実施された。関係者の円滑で機敏な連携で、市民の生命財産が守られる対応かを問いたい。

1, 住民をクマ被害から守るため、9月実施の緊急銃猟制度におき、高島市として独自のマニュアルは作成されたと聞いた。作成経過で警察や猟友会との協議や説明会を終えたと聞く。

国の「緊急銃猟ガイドライン」に基づく緊急銃猟を実施すべくクマを射る射手を委嘱するには幾つかの必須要件あるが緊急銃猟体制がとれる実施隊を市として委嘱出来たのか。

- 2, 約100人おられる市猟友会および鳥獣被害対策実施隊の役割は大きく、有害鳥獣駆除活動を軸に農林水産業を生業とする市民活動や市民生活を守る業務に従事願っている。
- ①市内全域での活動に応じられる体制となっておられるか。
 - ②広域的には会メンバーの高齢化と後継者が課題だが当市ではどうか。
 - ③野生動物管理駆除や緊急銃猟などの持続には、個体管理・駆除活動への報酬、緊急猟銃に従事されるハンターの身分保障などが必要だが、この分野ではどうか。
- 3, 日常的な鳥獣被害対策活動でも、緊急銃猟でも、市民の協力と理解が必要だが、市の現状と課題はどうか。
- 4, クマなど野生動物の個体管理が市民の社会生活の安心を脅かす背景に、人里・市街地に野生動物が出没し易い環境となっている現実がある。かつては山里田畠が動物の緩衝帯となっていたが、今は荒廃田畠で萱場と化す現状がある。中山間の耕作放棄地をなくす施策をどう位置付けているか。